ARAOU 次世代マット洗浄脱水機

WD-2200

自動車マット洗浄脱水機「洗王」

取扱説明書

平成 27 年 10 月 5 日　改訂

目次

2	目次
3	安全にご使用頂くために
4	各部の名称
5	操作方法
6	操作方法
7	動作時間設定
8	日常点検
9	メンテナンス
10	メンテナンス
11	メンテナンス
12	こんなときには
13	仕様データ

安全にご使用頂くために

商品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使い頂くために重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよくご理解の上、本文をお読みになり記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表 示 の 意 味
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定されるまたは物的損害の発生が想定される内容を示します。

⚠ 警告

【異常や故障のとき】

■ 煙が出ている、変な臭いがするときは、すぐに主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ 電源盤内部に水や異物が入ったらすぐに主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、主電源スイッチを切り、電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災·感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店へご連絡ください。

⚠ 注意

【設置されるとき】

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと

洗浄機が落ちて、けがの原因となります。重量がありますので、水平で安定した所に据え付けてください。

■ 振動のある所に置かないこと

振動で洗浄機が移動し、けがの原因となります。

■ 電源プラグは単相 200V コンセントに根元まで確実に差し込むこと

単相 200 ボルト以外を使用すると、火災感電の原因となります。また差し込み方が悪いと発熱によって火災の原因となります。

■ 洗浄機の上に物を置かないこと

重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

【ご使用になるとき】

■ 修理・改造・分解はしないこと

内部には電圧の高い部分があり、感電·火災の原因となります。内部点検・調整修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

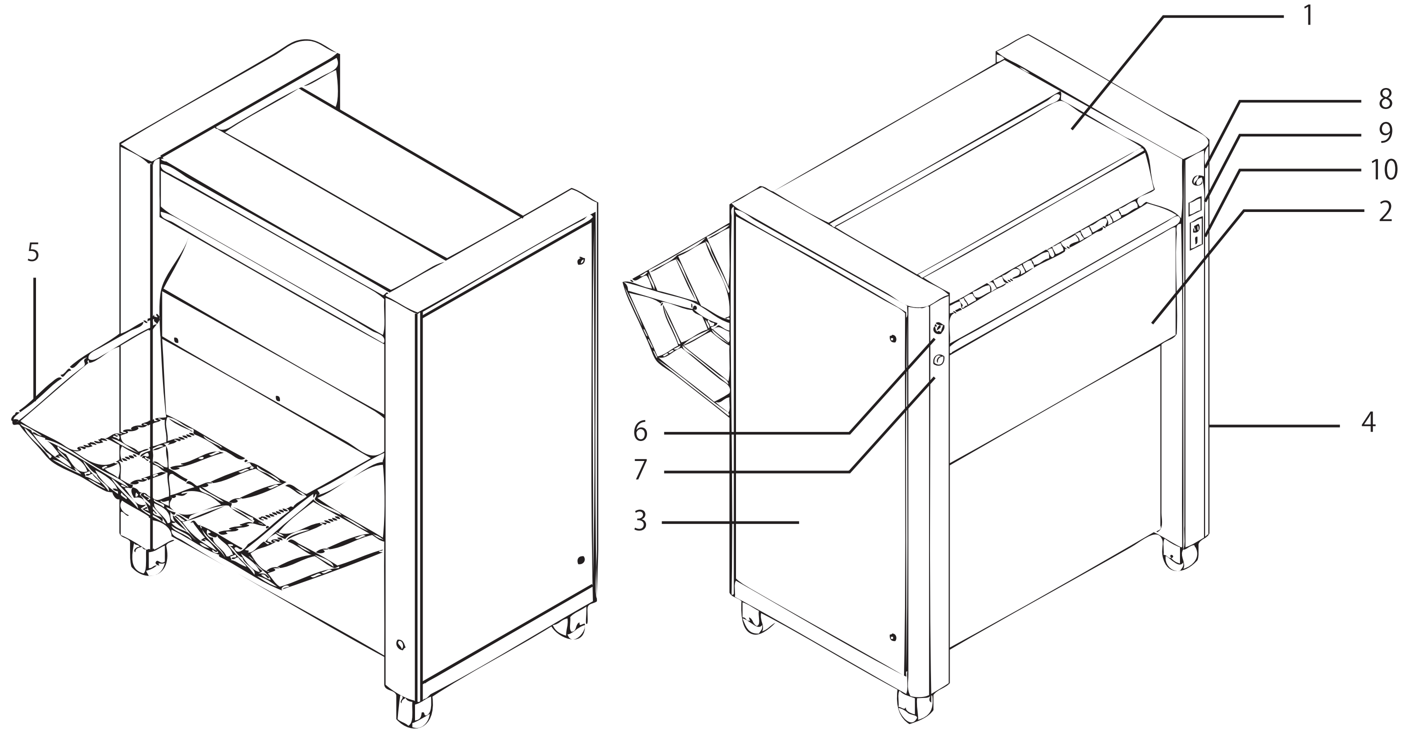
■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

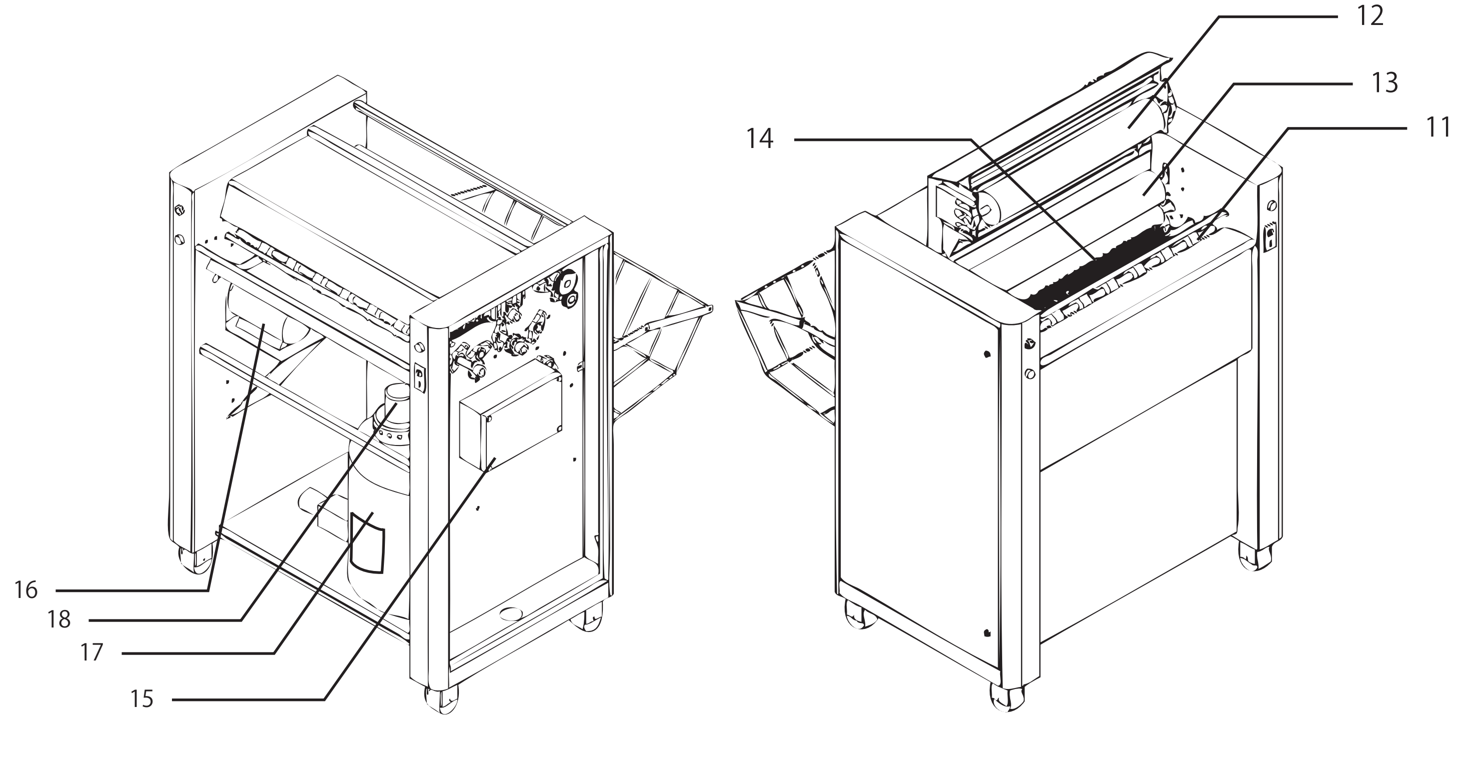
■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

各部の名称



1 トップカバー、2 フロントカバー、3 左サイドパネル、4 右サイドパネル、5 マット受け、6 水使用選択スイッチ
7 パススイッチ、8 非常停止スイッチ、9 残り時間表示ディスプレイ、10 コイン投入口（スタートボタン）



11 フィードローラ、12 アッパローラ、13 ロアローラ、14 ブラシ、15 電気ボックス、16 フィードモータ、17 真空室
18 真空ポンプモータ

操作方法

【電源の投入】

■ 右サイドパネルをあけ、電気ボックスのブレーカーを投入します。

【開始】

■ WATER スイッチでモードを選択してください。
自動水洗するときは「WATER ON」に、乾燥だけのときは「WATER OFF」に設定してください。

■ スタートボタンを押します。（コイン式の場合はコインを投入します。）
機械本体の動作が開始します。
初期設定では 1 回あたり 3 分間の動作となります。

■ 残り時間がカウンターに表示されます。
残分数は MIN、残秒数は SEC に表示されます。残時間が 0 になると自動停止します。

【マットの挿入と洗浄】

■ マット先端から 15cm ほど手前を持ち、挿入口より洗浄面を下にして挿入します。
3cm くらい挿入するとマットは自動的に装置内に取り込まれ、後ろのマット受けに排出されます。

■ マット挿入口には絶対に指を入れないでください。

■ 運転中はサイドカバーやトップカバーを開けないでください。

■ 下記のようなマットは使用を避けてください。

1）国産車の純正マット以外の物
2）厚さが２０mm を超えるもの
3）輸入車のマット
4）金属プレート等、硬質材を含む物
5）ベロア・ムートンなどの毛足が長く巻き込む恐れがある物
6）マット本体の生地や縫い目に破れ・亀裂・解れ等のある物
7）切込みやかぎ込みのある物
8）マット製造元より手洗い・ドライクリーニングを指定されている物

本装置は汎用的なマット洗浄を目的として開発・製造されております。
すべての種類の自動車用マットに対応しているものではありません。
マットの形状・種類によっては巻き込み・破損・色落ちなどを起こす場合があります。
お客様の判断によりご使用ください。
尚、上記記載のマットを使用して万一生じた不具合については免責とさせていただきます。

【パススイッチ】

■ 洗浄中に時間切れになったときにマットを排出するためのボタンです。
このボタンを押し続けることによりマットはマット受けに排出されます。洗浄中はこのスイッチは無効です。

操作方法

【非常停止スイッチ】

■ 装置を緊急に停止するときに使用します。

残り時間もリセットされます。
停止後は各部に異常がないかを点検し、異常がなければ使用を開始してください。

【使用回数の確認をする】

■ ストップボタンを 1 回押すと、カウンターに使用回数の数字が表示されます。

スタートボタンを押した回数が使用回数としてカウントされています。
リセットをする場合は、ストップボタンを押したまま、ブレーカーを OFF（5 秒間維持）するとカウンターリセットとなります。

【凍結防止装置の操作方法】

■ 本体左ドア内に凍結防止装置の温度調節機があります。(WD-2200CS/WD-2200CSCO)

ダイヤルで設定した温度以下になると、凍結防止のヒーティング線が作動します。
寒冷地では、マイナス 2℃～マイナス 3℃位にダイヤルを合わせておきます。
ヒーティングが必要ない地域では、マイナス 30℃に合わせておきます。

動作時間設定

洗王の動作時間とコインの設定はディップスイッチにより行います。

■ ＝ON　　□ ＝OFF

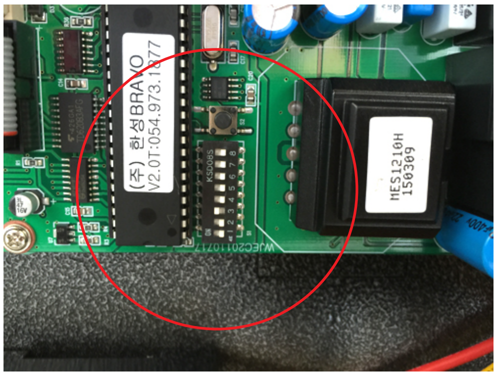
【 動作時間の設定 】

	DIP SW1	DIP SW2	DIP SW3	DIP SW4	DIP SW5
10sec	■	■	□	■	■
20sec	□	□	■	■	■
30sec	■	□	■	■	■
40sec	□	■	■	■	■
50sec	■	■	■	■	■
1min	□	□	□	□	□
1min30sec	■	□	□	□	□
2min	□	■	□	□	□
2min30sec	■	■	□	□	□
3min	□	□	■	□	□
3min30sec	■	□	■	□	□
4min	□	■	■	□	□
4min30sec	■	■	■	□	□
5min	□	□	□	■	□
5min30sec	■	□	□	■	□
6min	□	■	□	■	□
6min30sec	■	■	□	■	□
7min	□	□	■	■	□
7min30sec	■	□	■	■	□
8min	□	■	■	■	□
8min30sec	■	■	■	■	□
9min	□	□	□	□	■
9min30sec	■	□	□	□	■
10min	□	■	□	□	■
12min	■	■	□	□	■
15min	□	□	■	□	■
18min	■	□	■	□	■
20min	□	■	■	□	■
25min	■	■	■	□	■
30min	□	□	□	■	■
35min	■	□	□	■	■
40min	□	■	□	■	■

【 コインの設定 】

	DIP SW7	DIP SW8
100円	□	□
200円	■	□
300円	□	■
400円	■	■

右扉内、基盤のディップスイッチを切り替えます。



日常点検

【ブラシの点検と清掃】　※ ブレーカーを落としてから行ってください。

■ トップカバーを上げ、付属の止め金を利用してトップカバーを固定します。ブラシ・ローラの状態を点検します。

異物がある場合は取り除いてください。ブラシに糸くずが付着している場合は、取り除いてください。
汚れがある場合は雑巾等でふき取ってください。
損傷がある場合はサービスに連絡してください。

【動作音の点検】

■ 動作音に異常がないかを確認してください。

異音がある場合は左右パネル内の機械部に異物がないかを確認してください。
また排水パイプにつまりがないかを確認してください。
異常があればサービスへご連絡ください。

【給水の点検】

■ 給水元栓が開いていることを確認してください。

給水ホース接続に緩みがないことを確認してください。

【排水の点検】

■ ドレインパイプが排水溝から抜けていないことを確認してください。

【接地の点検】　※ブレーカーを落としてから行ってください。

■ 接地線が外れていないことを確認してください。

【設置状態の点検】

■ 本体の設置状態を点検してください。

がたつきや緩みがあると動作中に本体が移動し、使用者のみならず、子供・ペット・周囲の器具などに危害を与える
可能性があります。がたつきや緩みが認められたときはこれを修正した後に稼動させてください。

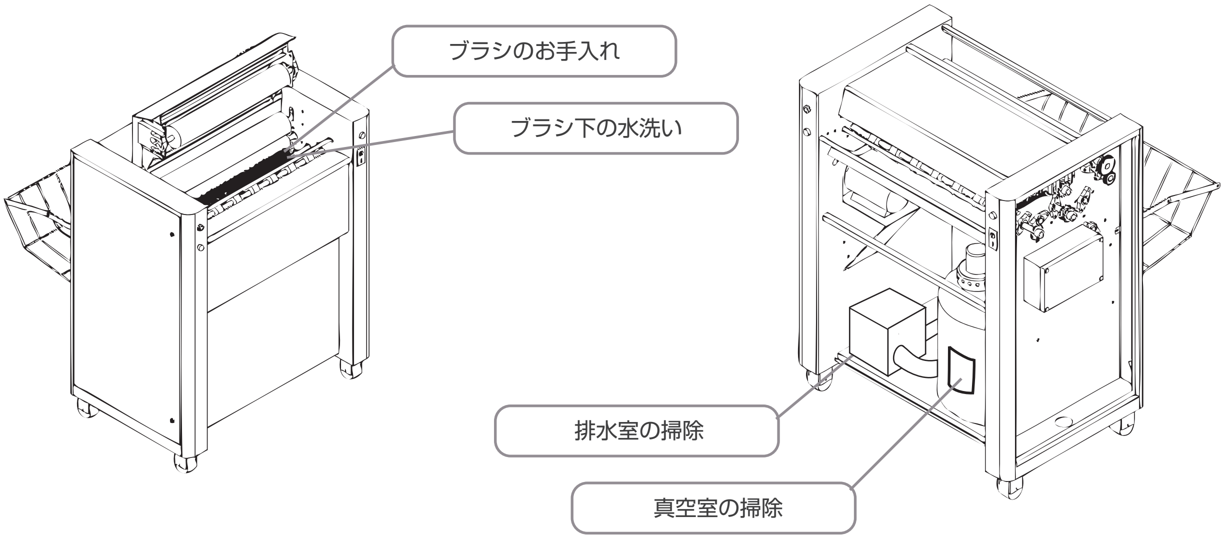
【真空室内の清掃】　※ブレーカーを落としてから行ってください。

■ 真空室の扉を開け、内部にあるごみを取り除いてください。

メンテナンス

お客様に通常性能でお使いいただくために、
設置店舗様へ日常点検のご協力をお願いしています。

1ヶ月に1度 行っていただくこと



はじめに

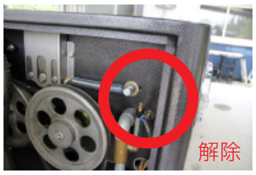
電源を切ります

本体右扉を明けて、スイッチボックス内にある主電源を切ります。

トップカバーを開けます

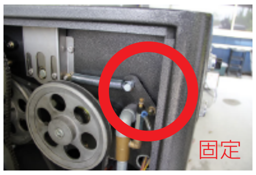
本体上部のステンレストップカバーを開けます。
マット挿入口より手を入れて、ロックバーを手前に引きながらカバーを上げます。
（閉める場合も同様に行います。）

こちらがロックバーです。
手前に引くことで、ロックが外れます。
もしロックバーが動かない場合は、下記の写真を
ご覧ください。



本体左扉内にロックバーの固定金具があります。

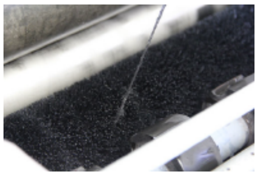
この写真が解除状態です。
この状態でロックバーを動かせます。



このように金具が下りていると、ロックバーが
固定されています。
金具を解除してください。

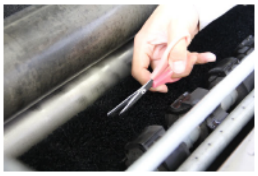
メンテナンス

01 ブラシのお手入れ



ブラシに絡まった糸くずを取ります

ブラシには糸くずなどが絡まっています。
自動車マットのミミの部分の糸がほとんどです。
この糸を定期的に取りのぞいてください。



はさみをブラシの毛にに対して縦に入れながら、糸の一部を切ります。
糸の先をつまみ、ブラシを回しながら絡まった糸を引き取ります。

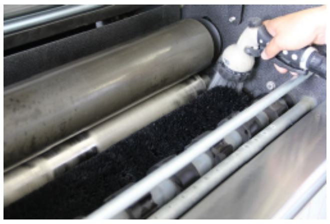
絡まった糸の見分け方は、ブラシが部分的に寝ている箇所を調べます。
定期的に糸を取るようにしてください。

ブラシプーリーを回すと簡単にブラシが回ります。
糸を引き取る際は、一緒に回してください。

ご注意ください！

使用頻度が高い場合、3 か月も放置すると、
このように帯状に糸が巻きつき、
ブラシが正常に機能しなくなります。

02 ブラシ下の水洗い

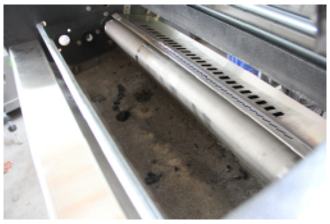


ブラシ下へ水を流し込みます

ブラシがかきあげたゴミは、水とともにブラシ下の受け皿に落ちます。
受け皿は中央に 500 円玉大の排水溝があり、
傾斜がついて水が流れるようになっています。

ご注意ください！

ブラシ下に水を流さないとこのように
砂やゴミが溜まります。
また、機械本体の水平が保たれていない
場合も、水がうまく流れずゴミが溜まります。



本体は水洗いＯＫです。

右扉内に電源ボックスがございます。こちらには水をかけないようお願い致します。

雑巾で拭き取ります

マット挿入口やローラー各部など、汚れている箇所を雑巾で拭き取ります。

03 真空室の清掃

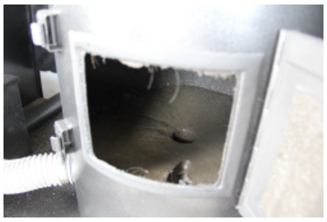
本体下部の扉を開けてください。

真空室の掃除を行います

通常は真空室の蓋を開けていただき、中に溜まった砂を
水で流して頂くだけで結構です。

ご注意ください！

砂を放置すると、このように中に泥が堆積
します。真空室の体積を減らしてしまいます
ので、真空力の低下につながります。

✕ 

泥が2センチ以上堆積している場合は、
水を流さずにスコップで取り出してください。
水を流すと排水パイプが詰まる恐れが
あります。

✕

04 排水室の清掃

排水室の掃除を行います

排水室上部にある蝶ネジ２か所をはずします。
蓋をはずします。

中を水洗いします。
真空室から来た排水が排水室に入り、
奥の排水パイプへ流れています。

排水室にはこのような弁が取付けられています。
機械が動き出すと、自動で弁が閉じ真空状態に
なります。
機械が止まると、自動で弁が開き、排水されます。

ご注意ください！

長期間掃除をしないと、排水室にゴミが溜まります。
ゴミが弁の動きを妨げ、空気漏れにより真空状態がつくれなくなりますので、ご注意ください。

【マットが詰まる】

■ 詰まったマットを取出します。

右サイドパネルをあけ、電気ボックスのブレーカを切りトップカバーをあけて取出してください。

ご確認ください

■ マットを斜めに挿入していませんか？

■ マットの裏面を下にして挿入していませんか？

マットの裏面の突起は真空ノズルの穴に引っかかる可能性が多いので、
必ずマットの裏面を上にして挿入して下さい。

■ マットに突起や亀裂などはありませんか？

マットに突起や亀裂などがあると詰りの原因になります。
このようなマットの利用は機械故障の原因にもなりますので、本装置での利用をお避けください。
4. 操作 マットの挿入と洗浄に記載されているマットの利用はお避けください。

【水が出ない】

ご確認ください

■ 水使用選択スイッチが「乾燥」になっていませんか？

スイッチを「水洗」にしてください。

■ 給水元栓が閉まっていませんか？

■ 給水ホースが外れていませんか？

■ 給水系統を点検してください。

該当する対処方法がない場合はサービスにご連絡ください。

【始動しない】

ご確認ください

■ 分電盤の漏電ブレーカを確認してください。

右サイドパネルをあけ、電気ボックスのブレーカを確認してください。

■ コインを投入しましたか？ /　スタートボタンを押しましたか？

コインを投入してください。/　スタートボタンを押してください。

【ブレーカーが落ちる】

■ 誘導雷を感知して落ちるなど、機械故障でないことでブレーカーが落ちる

ブレーカを投入して再起動してください。分電盤の漏電ブレーカが再トリップするときは機器漏電の可能性が
ありますので、使用を中止してサービスに連絡してください。
右サイドパネル内電気ボックスのブレーカが再トリップするときは過負荷になっていることが考えられます。
左右のサイドパネルを開け、機械部に異物が絡まっていないかを点検し、異物がある場合は取り除いてください。
異物などがない場合は使用を中止してサービスに連絡してください。

仕様データ

型式	WD-2200
電源電圧 周波数	単相 AC200V 50/60Hz
消費電力	2500W
駆動モータ定格電力	300W
真空モータ定格電力	1050W×2
凍結防止ヒータ定格電力	80W
使用水量	5～7L/min
所要水圧	0.1 ～ 0.3 MPa
寸法（W×D×H）	1040×650×1270mm
マット最大幅	800mm
マット最大厚	25mm
マット移送スピード	17mm/sec
装置重量	210Kg
定格電流	13A

記載の値は標準値を示します。
本仕様は予告なく変更されることがあります。
本装置は汎用的なマット洗浄を目的として開発・製造されております。
すべての種類の自動車用マットに対応しているものではありません。
マットの形状・種類によっては巻き込み・破損・色落ちなどを起こす場合があります。
本書３ページ記載の操作項記載注意事項をご参照いただき、お客様の判断によりご使用ください。
本書３ページ、操作項注意事項記載のマットを使用して万一生じた不具合については免責とさせていただきます。

ARAOU

次世代マット
洗浄脱水機